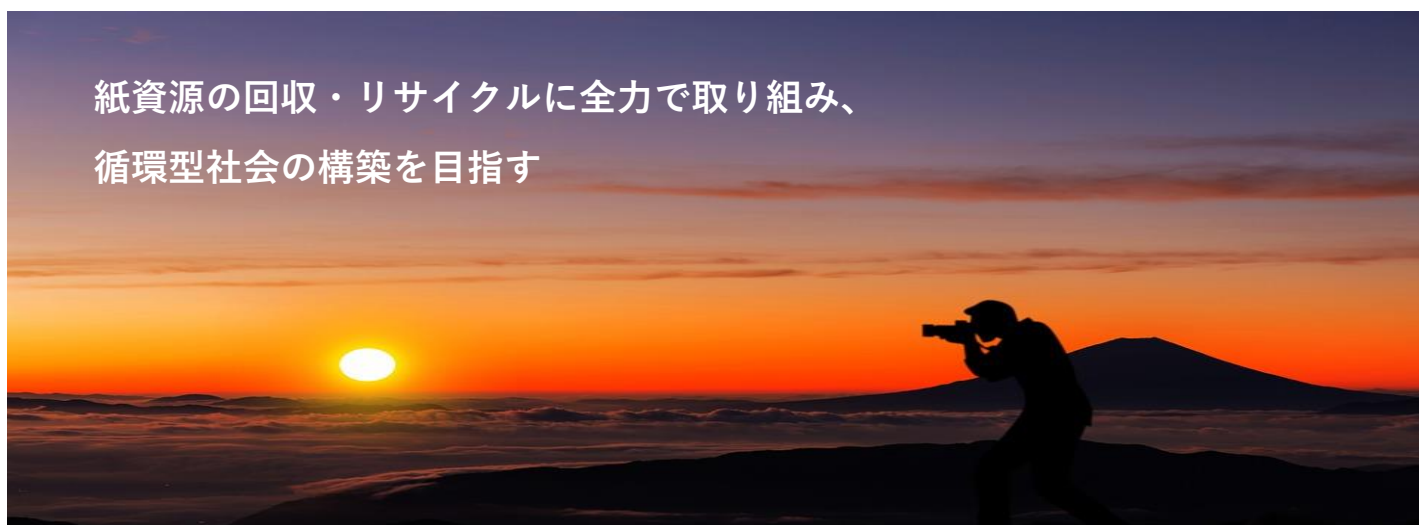


株式会社 徳原商店

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年3月～2024年2月)

紙資源の回収・リサイクルに全力で取り組み、
循環型社会の構築を目指す



発行日：2024年3月18日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
I. 組織の概要	4
II. 事業の紹介	4
許可内容	5
III. 取扱い廃棄物の種類と工程図	5
IV. 実施体制図及び役割・責任・権限表	6
V. 主な環境負荷の実績	6
VI. 環境経営目標及びその実績	7
(1) 中長期目標	7
(2) 2023年度の実績	7
VII. 環境経営計画及び取組み結果とその評価、次年度の環境経営計画	8
VIII. 環境関連法規制等の遵守状況の評価結果	8
IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示	8
X. 環境活動の紹介	9

ご 挨 拶

古紙は緑を守ります。この言葉を大切に思い日々大変な作業に取り組んでこれたと思います。平成27年より産業廃棄物処理業を営む中で環境にもっと優しい会社にならねばと思い、この度、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始させて頂こうと決意し今まで以上に環境意識を高め、環境負荷の低減に取り組んでいくことを宣言します。

環 境 経 営 方 針

古紙は緑を守ります。木材伐採は環境には良くない。もう真っ白な紙は必要ないという考えをもってリサイクルに取り組みたいと思います。その為に古紙は古紙でも良質な分別がしっかりされた古紙をメーカーに提供していきます。業として行っている産業廃棄物処理業では、分別は手作業でできるくらい綺麗な状態で受け取り機械などを使用せずに分別を行うようにすることで地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、継続的に改善を勧めます。

1. 環境経営システムを維持し、継続的改善を図ります。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。(電力、ガソリン、軽油)
4. 廃棄物の削減に取り組めます。
5. リサイクルの対象となる古紙及び廃棄物の受託量を拡大します。
6. 水使用量の削減に取り組めます。
7. 環境に配慮した収集運搬及び処分に取組めます。
8. 経営における課題とチャンスを定期的に明確化し、改善を行います。

この環境経営方針は全従業員に周知致します。

制定日： 2019 年 5月15日

改定日： 2023 年12月19日

代表取締役 徳原桂吾

I . 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社徳原商店
代表取締役 徳原桂吾
- (2) 所在地
本社 〒670-0982 兵庫県姫路市岡田92番地の1
中間処理工場 〒671-1154 兵庫県姫路市広畑区吾妻町1丁目45番地
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 代表取締役 徳原桂吾 TEL：079-296-0553 E-mail：tokuharas@crest.ocn.ne.jp
担当者 同上
- (4) 事業内容
産業廃棄物中間処理業、リサイクル業、産業廃棄物収集運搬業
- (5) 法人設立年月日 ： 1973年3月26日
- (6) 資本金 ： 10百万円
- (7) 事業の規模（2023年度）
売上高 150 百万円
産業廃棄物収集運搬量 36.9 トン
産業廃棄物中間処理量 36.9 トン（全量廃プラ・リサイクル）
一般廃棄物収集運搬量 0 トン
リサイクル量（古紙） 6,279 トン

	本社	中間処理工場	合計
従業員（人）	10	0	10
のべ床面積（㎡）	1,145	433	1,463
敷地面積（㎡）	1,575	433	2,008

- (8) 車両及び施設等の状況
- 産業廃棄物収集運搬用車両
- | 車種 | 最大積載量 | 台数 |
|------------|----------|----|
| 4 t パッカー車 | 1,450 kg | 2 |
| 3 t 平ボディー車 | 2,800 kg | 2 |
- 産業廃棄物処分用施設
- 中間処理
- | 施設の種類 | 破砕施設 |
|------------|---------------------------------|
| 処理する廃棄物の種類 | ①廃プラスチック②紙くず③木くず |
| 処理能力 | ①1.6 t /日（7 h）②1.3 t /日 ③2.6t/日 |
| 処理方式 | 破砕 |
- (9) 認証・登録の対象範囲
- 登録組織名 株式会社徳原商店
対象事業所 本社、中間処理工場
活動 産業廃棄物中間処理業、リサイクル業、産業廃棄物収集運搬業
対象外 無し

II . 事業の紹介

廃棄物の収集・運搬・分別・処理

企業様工場から排出された産業廃棄物を収集、運搬し、自社にて処理方法を検討し、分別及び廃棄処理を行う。

古紙類の収集・運搬・分別・処理

企業様から発生する古紙（段ボール・オフィス古紙）を収集運搬。
また、地域の民間団体様・学校関連の資源回収活動から発生する古紙（新聞・雑誌・段ボール）を収集運搬し再資源化を行う。

(許可の内容)
■産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体		兵庫県
許可番号		第02804027815号
許可年月日		令和5年5月6日
有効期限		令和10年5月5日
積替保管		無
許可 品 目	汚泥	●
	燃え殻	
	廃油	●
	紙くず	●
	木くず	●
	廃プラ類	●
	金属くず	●
	がれき類	●
	ゴムくず	
	ばいじん	
	廃油	●
	廃酸	
	繊維くず	
	ゴムくず	

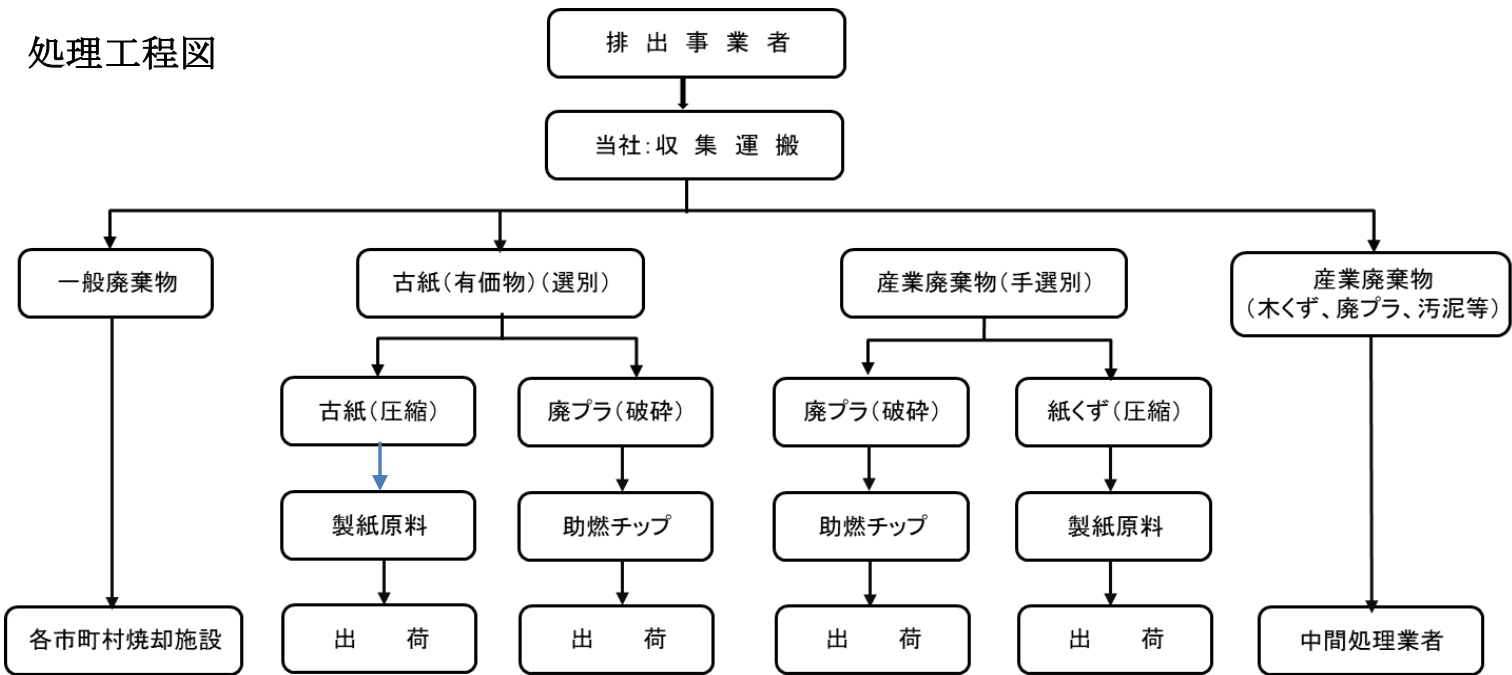
■産業廃棄物処理業許可
中間処理施設

許可番号	姫路市 第07021027815号
許可の年月日	令和2年4月30日
許可の有効期限	令和7年4月29日
事業計画の内容	主として姫路市の事業所から収集し、分別・減容して再生材として提供する。
事業の範囲	処分業（中間処理）
事業の区分	中間処理（破碎）
処理施設の種類	破碎施設
処理する廃棄物の種類	・廃プラスチック類 ・紙くず ・木くず
処理能力	1.6t/日（7時間） 1.3 t/日 2.6t/日

■一般廃棄物収集運搬業許可

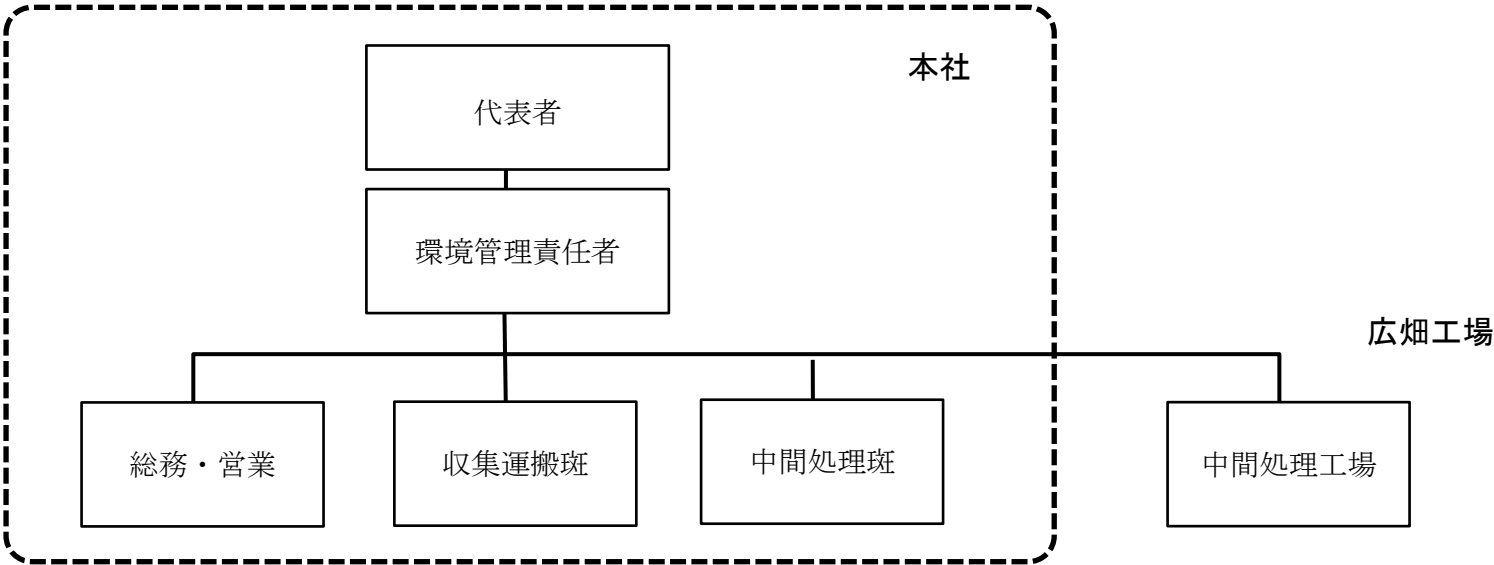
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業範囲と種類	備 考
たつの市	たつの市 第4号	2024年4月1日	2026年3月31日	・家庭ごみ （可燃、不 燃、粗大） ・事業系ご み（可燃、 不燃、粗 大）	・許可は2年 毎に更新申 請が必要と なる。

Ⅲ. 取扱い廃棄物の種類と工程図



※当社工場への、他社業者による廃棄物の持込みはありません。
※廃プラスチック以外の産業廃棄物については、近年、取扱実績がほぼありません。
※産業廃棄物としての紙くずは、ほぼありません。

IV. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成、実施状況の評価、記録作成 ・従業員に対する環境教育訓練の計画、実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・取組に必要な手順書の作成、維持管理 ・想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・緊急事態対応手順書に基づく訓練の計画実施、記録の作成 ・環境経営の取組状況の確認・評価、問題の是正及び予防 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
班長	・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	189,597	174,373	152,021	147,958	142,482	136,985
電力使用量	k W h	78,388	74,508	68,834	68,560	66,283	67,037
ガソリン使用量	L	2,332	1,554	1,198	1,047	1,234	1,200
軽油使用量	L	57,697	53,202	45,904	44,533	42,643	40,459
一般廃棄物排出量	k g	実績不明	58	55	45	45	36
産業廃棄物排出量	t	実績なし	実績なし	実績なし	43	実績なし	実績なし
水使用量	m ³	147	154	155	129	145	134

（注）化学物質は使用しない。

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

年 度 項 目		基準値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		(基準年度) 2018年度	目標	目標	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準 (%)	189,597	187,701 △ 1 %	185,805 △ 2 %	183,909 △ 3 %	182,013 △ 4 %	180,117 △ 5 %
①電力使用量削減 二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO ₂ /kWh	kWh kg-CO ₂ 対基準 (%)	78,388 32,766	77,604 32,439 △ 1 %	76,820 32,111 △ 2 %	76,036 31,783 △ 3 %	75,252 31,456 △ 4 %	74,469 31,128 △ 5 %
②ガソリン使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準 (%)	2,332 5,414 100	2,309 5,360 △ 1 %	2,285 5,306 △ 2 %	2,262 5,252 △ 3 %	2,239 5,198 △ 4 %	2,215 5,143 △ 5 %
③軽油使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準 (%)	57,697 151,417	57,120 149,902 △ 1 %	56,543 148,388 △ 2 %	55,966 146,874 △ 3 %	55,389 145,360 △ 4 %	54,812 143,846 △ 5 %
II. 廃棄物排出量の削減	kg	実績不明	実績収集	57.4	56.8	56.3	55.7
①一般廃棄物の削減	対基準 (%)		(基準値58.0)	△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
②受入廃棄物の リサイクル率の向上	%	100	90	90	90	90	90
③古紙リサイクル量の増加	t 対基準 (%)	7,332	7,405 + 1 %	7,479 + 2 %	7,552 + 3 %	7,552 + 3 %	7,552 + 3 %
III. 水使用量の削減	m ³ 対基準 (%)	147.0	145.5 △ 1 %	144.1 △ 2 %	142.6 △ 3 %	141.1 △ 4 %	139.7 △ 5 %
IV. 廃棄物処理事業の環境配慮 古紙運搬車両の燃費向上	t/L 対基準 (%)	実績不明	実態把握 (基準値0.144)	0.145 (+ 1 %)	0.147 (+ 2 %)	0.148 (+ 3 %)	0.150 (+ 4 %)

※電力による二酸化炭素排出量は、関西電力（株）公表の2017年度二酸化炭素排出係数（調整後係数）0.418 kg-CO₂/kWhを用いて算出した。

※受入れ廃棄物のリサイクル率（2018年度）＝（再資源化量50t／中間処理量50 t）×100％

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2018年3月 ～2019年2月	2023年度の実績			
			2023年度（2023年3月～2024年2月）			
		基準値	目標	実績	達成度 (%)	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準 (%)	189,597	180,117 △ 5 %	136,985 △ 24.8 %	131.5 %	○
①電力使用量削減 二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO ₂ /kWh	kWh kg-CO ₂ 対基準 (%)	78,388 32,766	74,469 31,128 △ 5 %	67,037 28,021 △ 15.4 %	111.1 %	○
②ガソリン使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準 (%)	2,332 5,414	2,215 5,143 △ 5 %	1,200 2,786 △ 47.1 %	184.6 %	○
③軽油使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準 (%)	57,697 151,417	54,812 143,846 △ 5 %	40,459 106,178 △ 26.1 %	135.5 %	○
II. 廃棄物排出量の削減	kg	58.0	55.7	36	154.7 %	○
①一般廃棄物の削減	対基準 (%)	(2019年度)	△ 4 %	△ 22.4 %		
②受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率 対基準 (%)	100.0	90 △ 10 %	100.0 ± 0 %	111.1 %	○
③古紙リサイクル量の増加	t 対基準 (%)	7,332	7,552 + 3 %	6,279 △ 7.1 %	83.1 %	×
III. 水使用量の削減	m ³ 対基準 (%)	147.0	139.7 △ 5 %	134 △ 1.4 %	104.2 %	○
IV. 廃棄物処理事業の環境配慮 古紙運搬車両の燃費向上	t/L 対基準	0.144 (2019年度)	0.150 (+ 4 %)	0.155 + 11.1 %	108.1 %	○

注. 達成度の計算 削減するもの：目標÷実績×100 (%) 拡大するもの：実績÷目標×100 (%)

評価欄 ○：達成、△：やや未達成（達成度95%以上）、×：達成度95%未満

※受入れ廃棄物のリサイクル率（2022年3月～2023年2月）＝（再資源化量29.6t／中間処理量29.6t）×100％

Ⅶ. 環境経営計画及び取組み結果とその評価、次年度の環境経営計画

環境経営計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
I. 二酸化炭素排出量総量の削減		目標達成
・下記の通り		電力・ガソリン・軽油各使用量削減が全て達成したため、二酸化炭素排出量削減も達成しました。
①電力による二酸化炭素排出量の削減		目標達成
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	意識の向上が図れたと感じています。事務所や工場では不要時の消灯ができるようになりました。追加で工場の水銀灯をLEDに変えた効果もあったと思います。左記項目は、今後も引き続き推進していきます。
・生産工程の待機時間短縮	○	
・昼休みの消灯	○	
・不要照明の消灯（工場／事務所）	◎	
・OA機器の省エネモード設定	◎	
・設備の空運転時の電源停止	◎	
・クールビズの実施（安全作業着内の範囲）	○	
②ガソリン使用量の削減		目標達成
・アイドリングストップ（客先での待機中等）	◎	現在の車両は、ほぼ低燃費、低公害車です。また営業活動の機会がすくなくなり、ガソリン使用量が減りました。今後も引き続き推進して行きます。
・急加速の抑制（スロースタートの徹底）	◎	
・冷房の控えめ使用（車内空調の適正化）	○	
③軽油使用量の削減		目標達成
・アイドリングストップ（客先での待機中等）	◎	アイドリングストップ、効率的な収集運搬を心がけたので効果はありましたが、冷房は抑制出来ていない部分がありました。さらに検討して推進して行きたいと思います。
・急加速の抑制（スロースタートの徹底）	○	
・冷房の控えめ使用（車内空調の適正化）	△	
・短い距離移動での工程管理	○	
II. 廃棄物排出量の削減		目標達成
①一般廃棄物排出量の削減		印刷前のチェック強化でミスプリントが減少し、裏紙の利用は浸透しました。更に無駄な印刷ミスを減らして行きます。
・プリント前のプレビュー確認、裏紙の使用	◎	
・分別によるリサイクルの推進	◎	
・事務用品の節約	○	
②受入廃棄物のリサイクル率の向上		産廃リサイクル目標達成、古紙リサイクル量は未達成
・分別の徹底による有価物化	○	分別の徹底による有価物化について、従業員のノウハウを集めて共有化しました。今後、細かな手順について、ルール の 制定を検討します。引き続き分別の徹底を推進して行きます。
・排出元の顧客の事前分別の要請	○	
・有価物受入先の開拓	△	
・古紙リサイクル量の増加	△	
III. 水使用量の削減		目標達成
・手洗い水量の適正化	○	節水を心掛け、目標達成しました。今後も意識的に節水に努めて行きます。
・洗面所への啓蒙シールの貼り付け	○	
・朝礼の声掛け	○	
IV. 廃棄物処理事業の環境配慮		目標達成
・古紙運搬車両の燃費向上	○	収集運搬の効率の良い顧客への訪問により、目標達成しました。今後とも燃費向上に努めて行きます。
V. 課題とチャンスの推進		目標達成
・効率の良い運搬車両の運行	○	運行の段取りをきめ細かく実施した
・タイヤ空気圧、フィルター清掃	○	全車両の2か月毎の空気圧チェックとフィルター掃除を実施した

Ⅷ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	受入廃棄物の分別・保管・適正処分、マニフェストの適正管理	遵守
騒音規制法	破砕機の騒音基準遵守	遵守
振動規制法	破砕機の振動基準遵守	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、記載対象車両の指定地域通行禁止	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機などの定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済営業用乗用車、トラックの適正リサイクル	実績なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、全て遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

トラックの燃料消費量が減少し、エコアクション的には良い方向ではあるが、全体の仕事量が減っている結果であり企業としては古紙回収量を増やす事が目的であり、回収量が減っているにも関わらず、その見合い分の燃料削減にはなっていない。少人数の従業員での対応を考えると更なる効率化を考えて予定を組むことが重要。それに伴うミス、焦り、事故を起さないよう細心の注意が必要。

2024年3月1日
代表取締役 徳原桂吾

X. 環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<ゴミの分別>



<省エネ>



<節水>



<清掃活動>



<消火訓練>